

今こそ
若い力で
新しい習志野。

Report

関根ひろゆき

No
23

待機児童ゼロに向けて



早期の待機児童ゼロを目指します！

習志野市の現在の待機児童数は今年度4月時点で144人もいます。2017年度、2018年度の施設整備等により、約600人分の定員確保を行った事により、昨年同時期から約200人の減少となりましたが、まだまだ子どもを預けたくても預ける事が出来ない方が沢山いらっしゃいます。

来年度は更に300人弱分の定員確保に努め、待機児童ゼロを目指すとともに、保育士の処遇改善、量のみではなく、安心して子どもを預けられる保育の質の向上、子育てのしやすい環境づくりのために、市に引き続き訴えて参ります。

活動報告

Report

千葉県内初！

孫育てハンドブックの発行

世代間の子育てギャップを埋めるツールの一つとして私が提案し、昨年度から発行され、多くの市民の方々にご利用いただいております。

安心して子育て出来るまちを目指し、今後も活動を続けて参ります。

ならしの孫育て
ハンドブック



PROFILE

関根洋幸 (せきね ひろゆき)

1986年7月13日生まれ

谷津保健病院にて出生

習志野市立谷津幼稚園卒園

習志野市立谷津小学校卒業

習志野市立第一中学校卒業

習志野市立習志野高等学校卒業

亜細亜大学法学部法律学科卒業

Western Washington University留学

参議院議員事務所勤務

千葉県議会議員事務所勤務

衆議院小林鷹之公設秘書として勤務

2015年習志野市議会議員初当選

ホームページ

<http://sekine-hiroyuki.jp>

E-mail: info@sekine-hiroyuki.jp

発行: 関根ひろゆき後援会

習志野市谷津5-29-6

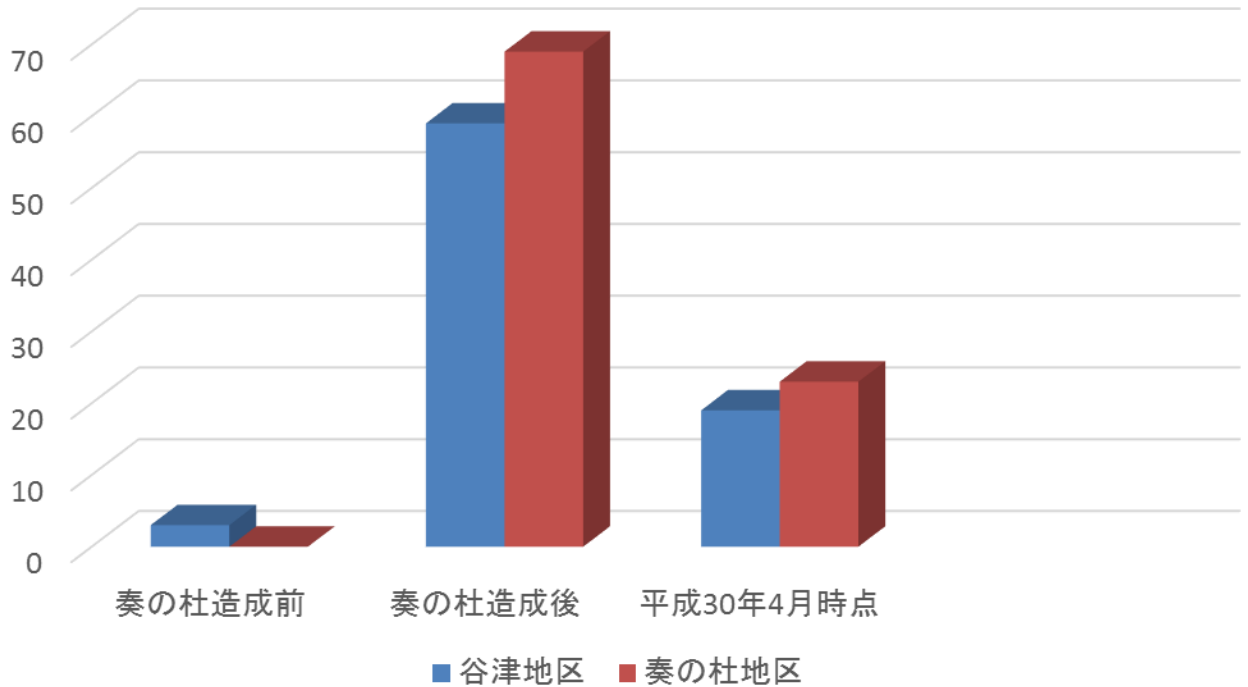


討議資料



谷津・奏の杜の過去と現在の状況

谷津・奏の杜待機児童数



谷津・奏の杜地区の待機児童は奏の杜造成前は3人でしたが、谷津地区の人口増加も合わせて、ピーク時には128人に増加をしておりました。待機児童解消のために、保育所の整備や保育士人材の確保を行うなど努力してきた結果、2018年4月時点では42人まで減少しております。早期の待機児童ゼロを目指します。より良い子育て環境づくりのために、児童憲章の理念に基づいたきめ細やかな活動を続けて参ります。



児童憲章の理念に基づいた活動

児童憲章とは、1951年5月5日に日本国憲法の精神に基づき、児童に対する正しい観念を確立し、すべての児童の幸福を図るために定められた児童の権利宣言であり、その中の3つの基本綱領を抜粋します。

児童は、人として尊ばれる。

児童は、社会の一員として重んぜられる。

児童は、よい環境の中で育てられる。

習志野市文教住宅都市憲章と合わせて、次の世代をになう子どもたちのために児童憲章理念に基づいた活動を続けて参ります。